

【パーキンソン病 × ダンス】映画「いまダンスをするのは誰だ？」



樋口 了一

そして・・・

**パーキンソン病
当事者でもある
樋口了一が
映画初出演で初主演!!**

「水曜どうでしょう」
主題歌「1/6の旅人」でお馴染み
樋口了一が
主題歌を書き下ろし!!

皆様からの温かいご支援、
絶賛募集中です!!

主題歌「いまダンスをするのは誰だ？」

いま
ダンスを
するのは誰だ?

監督
古新 舜
×
主演・主題歌
樋口了一

こちらをチェック→



企画者・チーフプロデューサー

まつの よしたか
松野 幹孝 (享年67歳)
逝去日:2022年3月26日

【追悼・松野 幹孝さん急逝に寄せて】

松野 幹孝さんはパーキンソン病当事者であり、本映画の企画発案者です。証券マンとして働いていた頃、階段につまずいたり、動作が遅くなったりすることが徐々に増えいき、2012年にパーキンソン病の診断を受けました。

病気になる前は寡黙で人との交流も多岐にわたる松野さんでしたが、パーキンソン病コミュニティの仲間たちとの出会いなどを通して、明るく活発に変化していき、リハビリを兼ねた趣味の卓球を始めたり、2021年には東京オリンピックの聖火ランナーを務められるなど、日々前向きになっていく姿はご家族も驚くほどだったそうです。

監督の古新とは2014年に出会い、2020年1月に本作の監督を依頼しました。パーキンソン病の実情を広く周知したい、映画が完成したら監督や仲間たちと一緒にレッドカーペットを歩き、「自分の運命を受け入れ前向きに生きていく姿を発信したい」という熱い思いを持って走り続けた松野さんでしたが、グラウンディングの2022年3月26日に息を引き取られました。

松野さんから託されたこのバトンと、監督、スタッフ、皆さまと共に受け継ぎ、最後まで走り抜けたと思います。ご支援のほど、よろしくお願いたします。



主人公の妻役
に大抜擢!!

社会保険労務士
小島 のぞみ
新たなチャレンジ!!



監督・脚本・原作
古新 舜 (こにいしゅん)

コスモボックス株式会社代表取締役
北陸先端科学技術大学院大学博士後期課程

「Give Life to Your Story!—物語を動かそう!—」をテーマに、映画と教育の融合を通じて、大人と子どもの自己受容感を共に育んでいく共育活動を行なっている。初の長編映画「ノー・ヴォイス」は、捨てられる命ゼロを目指してをテーマに、日本の殺処分問題の現状と犬猫の命の大切さを描き、現在も各所で上映会

が行なわれ、2020年には普通進士学園中学校の「国語」の入試問題に採用される。また、クリエイティブと共に、経営・ICTの活動面でも評価を受け、一般社団法人テレコムサービス協会主催の「第3回ビジネスモデル発見&発表会・全国大会」にて「中小企業庁長官賞」を受賞する。

最新作となる長編映画「あまのがわ」は、不登校の女子高生が分身ロボット「Orihime」と共に、屋久島・鹿児島を旅する物語。主演は、本作が映画初出演 & 初主演となり、第100期朝ドラ「なつぞら」で広瀬すず演じるなつの幼馴染・夕見子役で好演をした堀地桃子。本作は、第31回東京国際映画祭「特別招待作品」として選定され、ロサンゼルスJFFLAにて「最優秀脚本賞」を受賞。2021年1月にはベトナムの日本映画祭に「万引き家族」と並んで日本代表として選出される。本作が長編監督3作目。



←映画へのご支援をご希望の方は、こちらのQRコードよりHPへお進みくださいませ。

2023年 下半期 劇場公開予定

ご協賛のお願い

現在
3,200
万円

目標
4,500
万円

個人協賛
1口 1万円

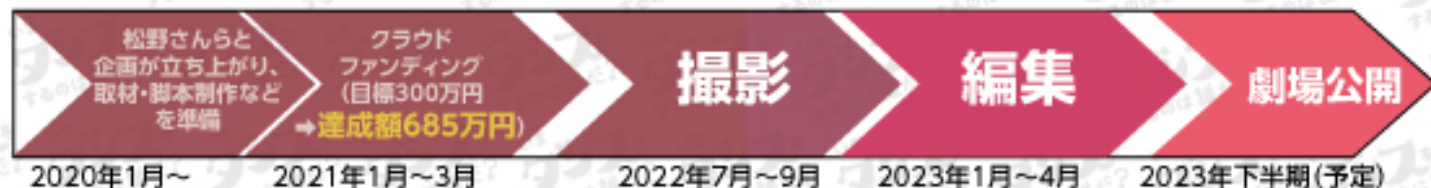
企業協賛
1口 10万円

※個人、企業ともに複数口のご支援も
大切にお届けしたいと存じます。



※2023年1月時点

本映画製作～公開までの大まかなスケジュール



応援コメント

順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科 教授
服部 信孝 さん



一人で悩まない、いつも前を向いて元気に過ごしましょう。患者さんもその家族も、そして医療人も同じプラットフォームで助け合い、励まし合い、そして手を携えて力強く前進しましょう。

オリイ研究所 所長、デジタルハリウッド大学大学院特任教授
吉藤 オリイ さん



身体を失った青年が心を無くした少女と旅をする映画「あまのがわ」では、人々の葛藤や苦悩、その先にある希望やすぐ未来の可能性を描かれました。古新監督の新たな挑戦により、また多くの方々の視野、世界が広がる未来を期待しております。

株式会社 ウチダシステムズ 代表取締役社長



障害や病気に対する教育が裾野広く促進され、正しい理解のもと障害者と健常者が相互尊重し合えること。分け隔てない対話があふれ、豊かで優しい社会環境を築いていけること。映画の持つ魅力と発信力により社会の行動がより良く変化していくことを心より期待しております。

株式会社 多聞 代表取締役
武藤 佳史 さん



「想いを分かち合い続けた人が成功者となっていく」という帝王学の格言通りに行動を起こされていること、素晴らしいと感じます。映画製作をきっかけに想いが実現されることを心から応援しております。

美浜神経内科 院長
師尾 郁 さん



ひとりひとりがそれぞれの夢を持ち、未来にむかって自分のやり方で進んでいく、障害や病気があっても自分の人生をポジティブに歩んでいく、そのようなコンセプトの映画に大変期待しています。パーキンソン病と動き方と家族とダンス！すべての人をインクルージョンした社会の実現がみえてくるようです。

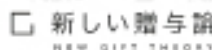
デジタルハリウッド大学 学長
杉山 知之 さん



常に見逃されてしまいがちな社会問題にスポットを当て、それを表現するため独特な物語を創り上げる古新監督。今回は動き盛りの年代のパーキンソン病とのこと。知られていないが、決してレアケースではないという。そのこととダンスで、どのような映画になるのだろうか？まったく想像がつかない。だからこそ作品の完成が楽しみでならない。

ご協賛企業様一覧

株式会社 **ウチダシステムズ**



貴重なご支援、力強い応援に心より感謝いたします。
皆さまのお名前を掲載して、この作品を世に産み出したいと思っておりますので、温かい応援のほど、宜しくお願い申し上げます。(スタッフ一同)
お問い合わせ: いまダンフィルムパートナーズ
TEL:03-6321-7368 HP:https://imadance.com Mail:info@imadance.com



映画公式HP